



遊び

は子どもの主食です

～現在の子どもたちは、ちゃんと遊んでいるでしょうか

遊びを成り立たせる **時間** **空間** **仲間** のいわゆる3間が、幼児の頃から習い事や塾などのために取れにくくなっています。

本人が「やりたい」と思って自発的に**遊び**を通して、自らの限界に挑戦し、身体的、精神的、社会的な面が成長します。**遊び**は子どもの成長にとって必要不可欠なものなのです。

こうした**遊び**を確保するために、冒険遊び場・プレーパークの活動があります。日本で初めて始まった世田谷区の羽根木プレーパークには、禁止事項がありません。利用者の子どもたちも主体的にかかわり、プレーリーダー、ボランティアと一緒につくり上げる常設の遊び場・居場所になっています。



6/29(日)諏訪の森公園で行われたプレーパーク。水鉄砲やスライダー、シャボン玉、読み聞かせ、と暑さを忘れ親子で遊んでいました。

この活動に関心のある方、ご意見などお寄せください。

いつまでも残したい玉川上水の緑

～6月23日に発生した倒木による停電

玉川上水(こんびら橋付近)の倒木により、柏町、幸町、栄町、砂川町の約6,000軒で停電が発生しました。あべみさの調べによると、玉川上水の管理は都と市に分かれ線引きもあいまいな部分もあり複雑であることが分かりました。倒木を防ぐため樹木の点検などが必要ですが、管理が分かれていることや、予算面、広範囲にわたるため取り組むことが難しい現状が見えてきました。

今回の停電は短い時間で復旧しましたが、現状の管理のままでは、さらなる倒木の危険性がある、と玉川上水周辺住人から不安の声が寄せられました。

東京都の史跡である玉川上水は、緑のグリーンベルトとしてさまざまな生き物の通り道、また市民の憩いの場にもなっている貴重な緑地です。立川・生活者ネットワークは自治体にまたがる玉川上水の管理には都が予算を出し、自治体や保全をする市民団体と連携して行っていくべきと考え、都議会議員とも協力し取り組んでまいります。



水辺の調査 6月1日実施

市内の湧水や分水の水質調査を行いました。この調査の目的は市内の定点力所の湧水や水辺の様子の観察、水質だけでなく生き物様子を観察することです。調査地点では生き物の様子で変化はないか聞き取りをしたり、めずらしい生き物(カワセミヤ雷魚)に出会ったりしたこともありました。詳しくはHPをご覧ください。

■調査場所

- ①羽衣町矢川緑地保全地域 ②柴崎町立川公園柴崎分水(通称ガニガラ公園)
- ③富士見町緑地湧水 ④農業試験場そばの公園湧水



羽衣町にある矢川緑地保全地域調査のため湧水を採取。

立川・生活者ネットワークと市議会議員あべみさ「サポーター」を募集中!

- ◎ レポート配布サポーター 100枚から配布できる方
- ◎ 活動資金をカンパで応援 一口2000円から
*2000円以上のご寄付の方には東京・生活者ネットワーク毎月発行の「生活者通信」を1年間贈呈いたします。

振込先 多摩信用金庫 砂川支店 口座番号 0567253 口座名 阿部美砂とすずかけ会議 代表 阿部美砂